DENON

フルオートマチック ターンテーブルシステム

DP-300F

取扱説明書

安全にお使いいただくために―必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグを
コンセント
から抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

警告 つづき

■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での
使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意 つづき

■ 取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

手や指などを挟まない

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

ダストカバーを閉じるときは、手や指などを挟まないようにご注意ください。ケガの原因となることがあります。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

ダストカバーの上にものをのせない

ダストカバーの上にものを置かないでください。ダストカバーの開閉のときにものが落下して、破損またはケガの原因となることがあります。

■ 使わないときは

長期間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は

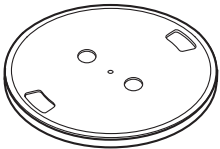
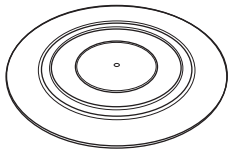
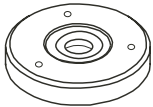
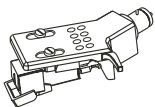
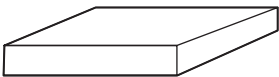
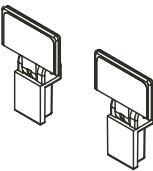
安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

操作のしかた

その他について

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

ターンテーブル （ベルト付き）……………1個	ターンテーブルシート …1個
45回転レコード用 アダプター ………………1個	カートリッジ付き ヘッドシェル ……………1個 予備リード線 ……………1組
ダストカバー ……………1個	カウンターウエイト ……1個
ヒンジ ……………………2個	取扱説明書（本書） ……1冊 製品のご相談と修理・ サービス窓口一覧表 ……1枚 保証書【梱包箱に添付】

取り扱い上のご注意

お手入れについて

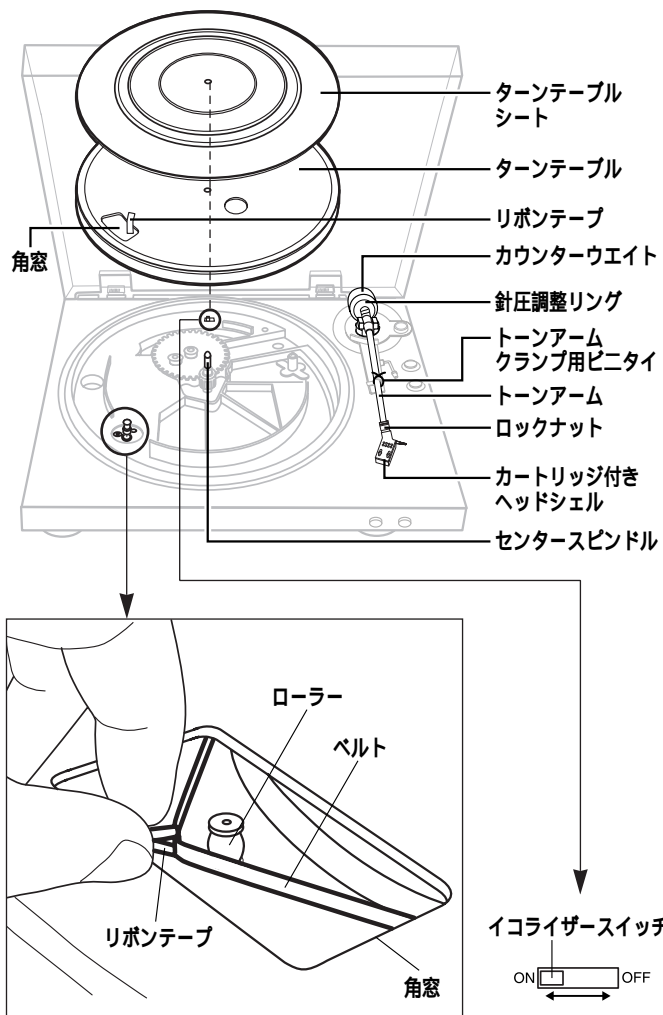
◎ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

◎ ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

ステレオ音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

保証とサービスについて

1. この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。
3. 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
6. この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

イコライザースイッチについて

本機はイコライザーを内蔵しています。
接続する端子によって、次のように切り替えてください。

OFF: **PHONO入力端子に接続する場合**
（本機のイコライザーは使用しません。）

ON: **PHONO入力端子以外に接続する場合**
（本機のイコライザーを使用します。）

メモ

- 工場出荷時、**イコライザースイッチ** は“ ON ”になっています。**ターンテーブル** および **ターンテーブルシート** を装着する前に必ず確認してください。
- **イコライザースイッチ** が正しく設定されないと、音が極端に小さくなったり、歪んだりします。

組み立てかた

- 組み立てが完了するまで、**トーンアームクランプ用ビニタイ** を外さないでください。
- 組み立てが完了するまで、電源コードは接続しないでください。

ターンテーブルの取り付け

1 **ターンテーブル を センタースピンドル に装着する。**

2 **ベルト掛け用の リボンテープ がある方の角窓から ローラー が見えるように、ターンテーブル を回す。**

3 **リボンテープ をつまんで、ベルト を ローラー の外側中央に掛ける。**
- **ベルト** を掛けたら、**リボンテープ** は取り除いてください。
- **ターンテーブル** を5～6回、ゆっくり回してください。**ベルト** が **ローラー** の中央に掛かります。

4 **ターンテーブルシート を装着する。**

《ご使用になる前に》

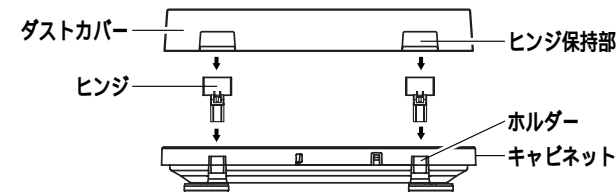
カウンターウエイトの取り付け

トーンアーム の後部の軸に、カウンターウエイト を挿入し、ねじ込む。

※ 針圧調整リングを前面に向けて、取り付けてください。

カートリッジ付きヘッドシェルの取り付け

カートリッジ付きヘッドシェル を トーンアーム に差し込み、ロックナット で固定する（☞ 10ページ）。

ダストカバーの取り付け

1 **付属の ヒンジ 2個をキャビネット後部の ホルダー にしっかり差し込む。**

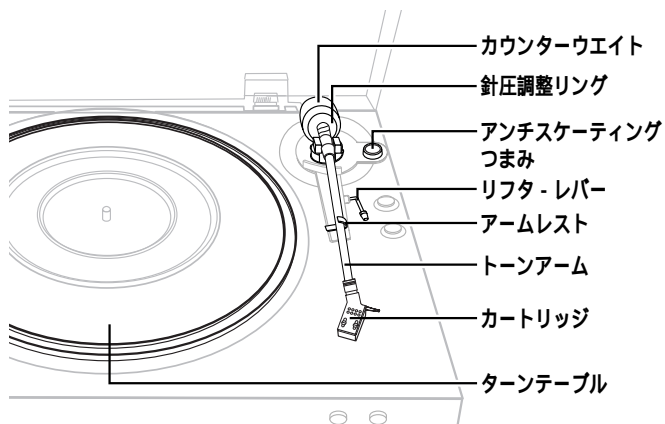
2 **ヒンジ に ダストカバー の ヒンジ保持部 を装着する。**
- 矢印の方向に十分押し込んでください。
- **ダストカバー** を取り外す場合は、**ダストカバー** を全開にしてから、矢印の反対方向に引き抜いてください。

メモ

- **ダストカバー** の取り付け・取り外しは、**ヒンジ保持部** の近くを持っておこなってください。

組み立てが完了したら、トーンアームクランプ用ビニタイを外す。

調整のしかた

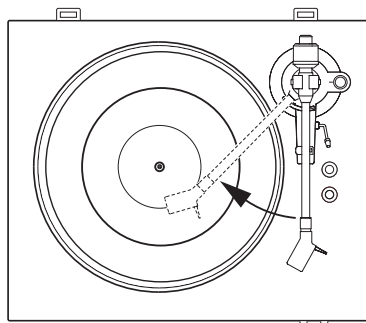
調整をおこなうときは、電源を切ってください。

針圧・アンチスケーティングの調整

ご注意

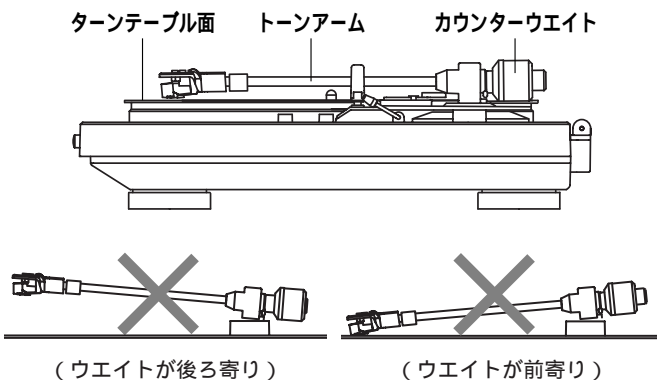
針先をターンテーブルシートなどで傷つけないように、十分注意してください。

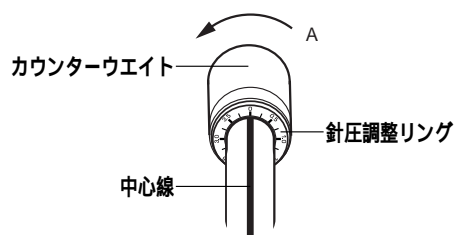
1 **アンチスケーティングつまみ の目盛りを“ 0 ”に合わせる。**

2 **リフターレバー を下げて、トーンアーム を ターンテーブル の上まで移動させる。**

※ 針カバーを取り外せるカートリッジの場合は、針カバーを取り外してください。

3 **水平バランスをとる。**

- **カウンターウエイト** を前後させ、手を離したときに **トーンアーム** と **ターンテーブル面** を平行にします。

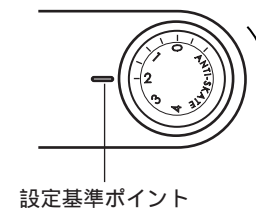
（ウエイトが後ろ寄り）　（ウエイトが前寄り）

4 **トーンアーム を アームレスト に戻す。**

5 **カウンターウエイト を動かさないように指で支えながら 針圧調整リング を回し、針圧調整リング の“ 0 ”表示を トーンアーム 後部軸の中心線に合わせる。**

6 **カウンターウエイト を矢印Aの方向に回し、カートリッジ の適正針圧値に設定する。**

※ 付属カートリッジの適正針圧は、2.0g（19.6mN）です。“ 2 ”に合わせてください。

《ご使用になる前に》

7 **アンチスケーティングつまみ を回し、カートリッジ の針圧と同じ数値に設定する。**

- 適正なアンチスケーティング量が得られます。

各部の名前について

各部のはたらきなど、詳しい説明については（　）内のページを参照してください。

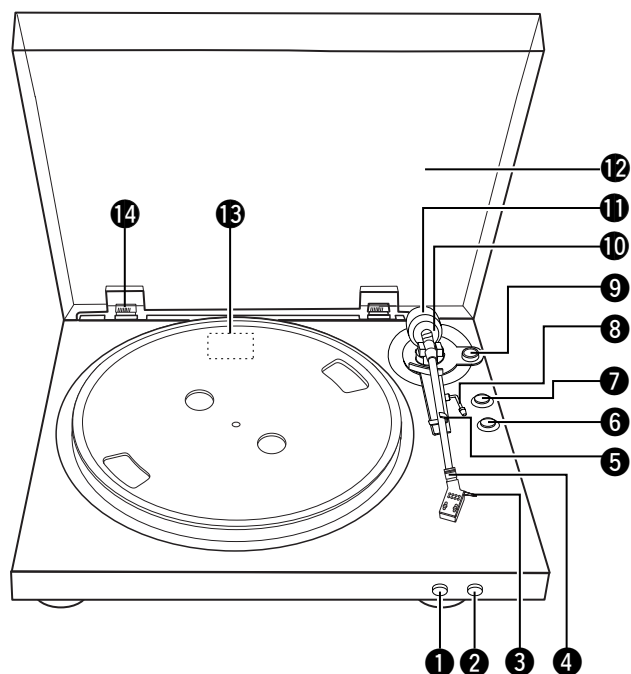
❶ **STARTボタン**……………………………（9）
再生を開始します。

❷ **STOPボタン** ……………………………（9）
再生を停止します。

❸ **指かけ**

❹ **ロックナット** …………………（6）、（10）

❺ **アームレスト**

❻ **SIZEボタン（■17/▬30）** …………（9）
再生するレコードのサイズ（30cmまたは17cm）に合わせます。

❼ **SPEEDボタン（■45/▬33）** ………（9）
再生するレコードの回転数に合わせます。

❽ **リフターレバー** ………………………（7）

❾ **アンチスケーティングつまみ** ………（7）

❿ **針圧調整リング** ………………………（7）

⓫ **カウンターウエイト** …………………（7）

⓬ **ダストカバー** …………………………（6）

⓭ **イコライザースイッチ** ………………（6）

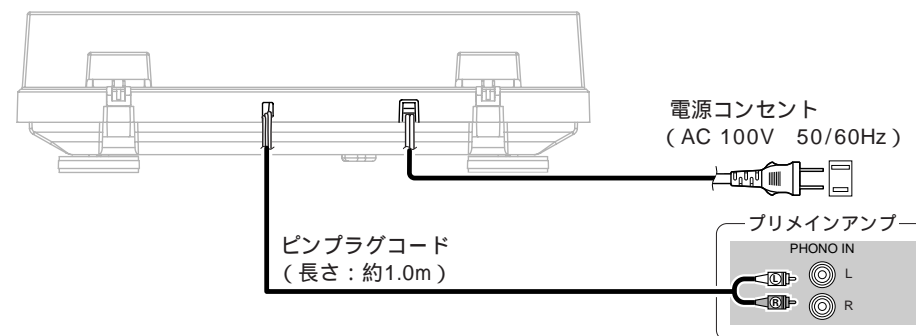
⓮ **ダストカバーヒンジ** …………………（6）

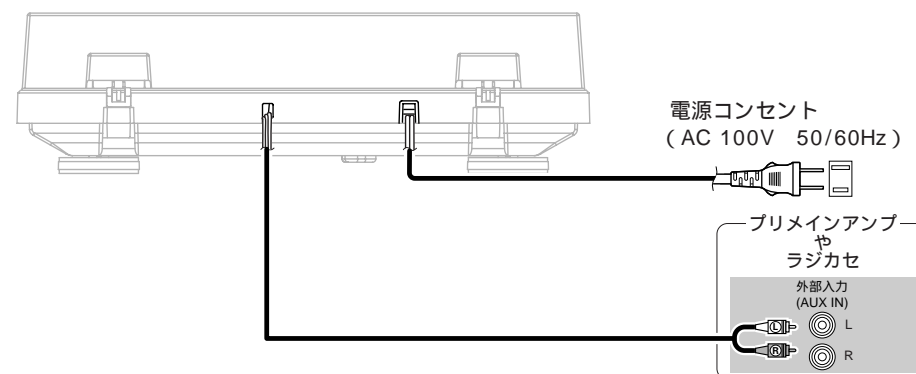
接続のしかた

ご注意

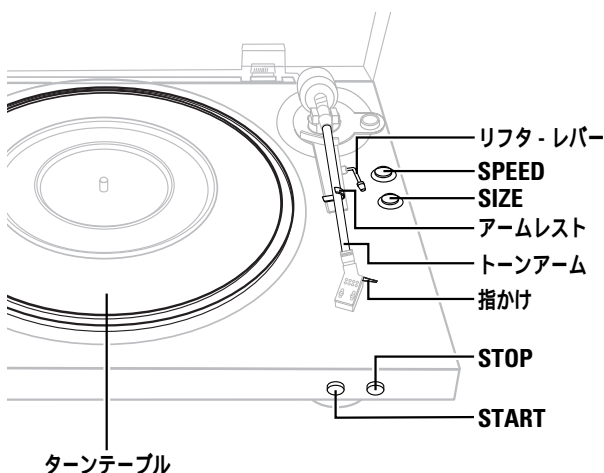
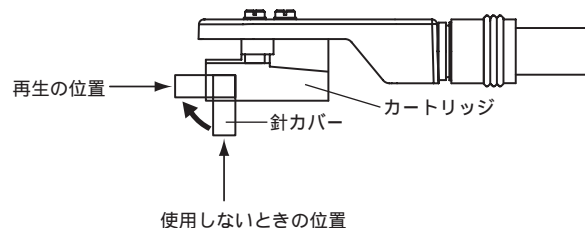
- 本機を接続する機器の電源を切ってください。本機の電源プラグはすべての接続が終わるまでは、コンセントに差し込まないでください。
- すべての接続が正しいことを確認してから、本機の電源プラグをアンプのACアウトレット、または家庭用ACコンセントに接続してください。

■ PHONO入力端子に接続する場合

イコライザースイッチ：OFF（☞ 6ページ）

■ PHONO入力端子以外の端子に接続する場合

イコライザースイッチ：ON（☞ 6ページ）

 メモ

- 電源コードを接続したときに、プレーヤーが動作し始めた場合は、**STOP** ボタンを押してください。

操作のしかた

■針カバーの開けかた

自動再生のしかた

再生の前に、針カバーを上げてください。

1 レコードを ターンテーブル の上に載せる。

※ EPレコード（ドーナツ盤）を再生するときは、45回転アダプターを使用してください。

2 SPEED で、レコードの再生スピードを合わせる。

※ 45回転レコード：…………▀ 45に合わせる
33-1/3回転レコード：……▄ 33に合わせる

3 SIZE で、レコードのサイズを合わせる。

※ 17cmレコード：……………▀ 17cmに合わせる
30cmレコード：……………▄ 30cmに合わせる

4 START を、約１秒間押す。

- **ターンテーブル** が回転をはじめ、自動的に再生をはじめます。
- 再生が終わると、**トーンアーム** が元の位置に戻り、**ターンテーブル** の回転が自動的に止まります。

メモ

- 再生終了後は、針先保護のため針カバーを下げてください。
- 本機にはレコード再生終了後、特定のポイントで **トーンアーム** を自動的に戻す「オートリターン機能」が付いています。普通サイズのレコードについては問題ありませんが、このポイントまで音の溝が続いているレコードについては、オートリターン機能が働き最後まで再生できません。

ご注意

- 再生中は、**トーンアーム** や **ターンテーブル** に触れたり、電源を切ったりしないでください。
- 25cmレコードは自動再生システムを使用することができません。この場合は手動で操作してください。また、再生終了後に **トーンアーム** が戻らない場合は、**STOP** を押してください。

手動再生のしかた

1 レコードを ターンテーブル の上に載せる。

※ EPレコード（ドーナツ盤）を再生するときは、45回転アダプターを使用してください。

2 SPEED で、レコードの再生スピードを合わせる。

※ 45回転レコード：…………▀ 45に合わせる
33-1/3回転レコード：……▄ 33に合わせる

3 リフターレバー を上げて、ヘッドシェルの 指かけ を持ち トーンアーム を再生したい曲の開始位置まで移動させる。

4 リフターレバー を下げる。

- **トーンアーム** がゆっくりと降下し、針先がレコード盤におりて再生をはじめます。

ご注意

レコードに傷をつけないように注意してください。

再生を途中で止めるには

STOP を押す。

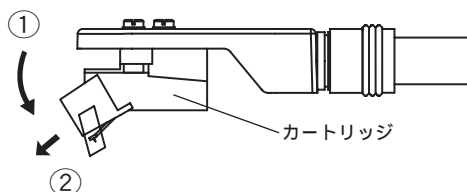
- 再生が止まり、**トーンアーム** が元の位置に戻ります。

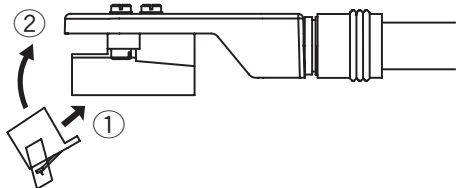
※ **リフターレバー** を上げて、再生を中止することもできます。この場合はヘッドシェルの **指かけ** を持って、**トーンアーム** を **アームレスト** に戻してください。

レコード針の交換

付属の針の寿命は約400時間です。大切なレコードをいためないよう、早めに交換してください。
交換針は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にて、DP-300F専用交換針「DSN-85」をご指定のうえ、お買い求めください。

■ 交換針の取り外しかた

一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、矢印 ① の方向に押し下げてから矢印 ② の方向にやさしく引き抜いてください。

■ 交換針の取り付けかた

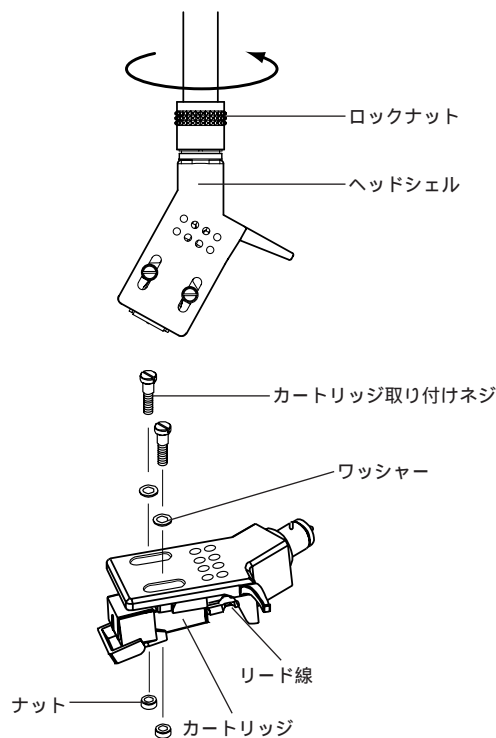
一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、交換針の引っ掛け部分を矢印 ① の方向に向けてカートリッジ本体の長穴の奥に入れた後、矢印 ② の方向にパチンというまで押し上げてください。

メモ

- 針を交換する前に、アンプの電源を切り、プレーヤーの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 針先は非常に繊細にできていますので、取り扱いには十分ご注意ください。針先のゴミは柔らかいブラシなどで軽く取り除いてください。
- ヘッドシェルを外すと針の交換がしやすくなります。

カートリッジの交換

このプレーヤーに別のカートリッジを取り付ける場合は、質量が約4.5g〜9.5g（約44mN〜93mN）のものをお使いください。
ヘッドシェルのみお買い求めになる場合は、お買い上げの販売店またはお近くの当社修理相談窓口にて、DP-300F専用ヘッドシェル「PCL-310SP（シルバー）/PCL-310BK（ブラック）」をご指定ください。

■ カートリッジの外しかた

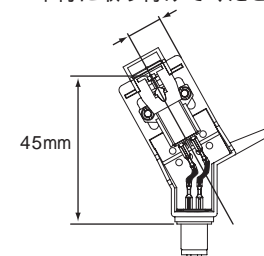
1. ヘッドシェル固定ロックナットを矢印方向に回して、ヘッドシェルを外します。
2. カートリッジ取り付けネジを外します。
3. カートリッジ側のリード線を外します。

■ カートリッジの取り付けかた

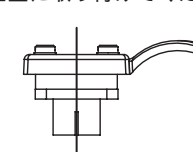
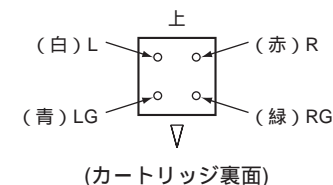
1. リード線を接続します。リード線の色分けは次のようになっています。間違いのないように注意してください。
   赤……右チャンネル（R）
   白……左チャンネル（L）
   緑……右チャンネルアース（RG）
   青……左チャンネルアース（LG）
2. 下図のように針先がヘッドシェル取り付け端面（ゴムワッシャー部）より45mmの位置に針先がくるように取り付けると所定のオーバーハングが得られます。（このプレーヤーのオーバーハングは、19mmです。）

メモ

- カートリッジを交換した場合は、水平バランス・針圧・アンチスケーティングの調整を忘れずにおこなってください（☞ 7ページ）。
- 交換するカートリッジによっては、端子の太さが異なるため、確実に接続できないものがあります。その場合は付属の予備リード線をお使いください。

平行に取り付けてください

45mm

(ヘッドシェル裏面)

垂直に取り付けてください

(ヘッドシェル前面)

(カートリッジ裏面)

その他について

故障かな？と思ったら

■ **各接続は正しいですか**
■ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	関連ページ
電源が入らない。ターンテーブルが回転しない。	● 電源コードの差し込みが不完全。 ● ドライブベルトがターンテーブルから外れている。	● 接続を確認してください。 ● ドライブベルト、ドライビングローラーを確認してください。ドライブベルトがターンテーブルから外れているときは、次の手順で取り付けてください。 1. ターンテーブルを外し裏返す。 2. 内部の円周にベルトを掛ける。 3. ターンテーブルを表にして穴からターンテープとドライブベルトの間にリボンテープを通す。 4. 6ページの組み立てかたを参照して、ターンテーブルを取り付ける。	8 6
音が出ない。	● ピンプラグコードが正しく接続されていない。 ● アンプのファンクションが本機を接続したファンクションに設定されていない。 ● 交換針が正しく取り付けられていない。	● 接続を確認してください。 ● アンプの設定を確認してください。 ● 針を確認してください。	8 8 10
スクラッチノイズが生じる。針が飛ぶ。歪んだ音が出る。	● 針またはレコードが汚れている。 ● 針が磨耗したり、レコードに傷が付いている。	● 汚れを取るか、針を交換してください。 ● 針を交換してください。 ● レコードを確認してください。	10 10 ―
音が極端に小さい。 音が大き過ぎて歪む。	● イコライザースイッチが正しく設定されていない。	● 接続する端子に合わせて、スイッチを切り替えてください。	6
ハウリングが生じる。	● プレーヤーがスピーカーに近すぎる。 ● プレーヤーが不安定な場所に置かれている。 ● 再生音が大きすぎる。	● プレーヤーとスピーカーを離してください。 ● プレーヤーの設置場所を確認してください。 ● アンプの音量を調整してください。	― ― ―
STARTボタンを押してもトーンアームが動かない。	● トーンアームがアームレストにクランプされている。 ● 電源コードが正しく接続されていない。	● トーンアームのクランプをはずしてください。 ● 電源コードの接続を確認してください。	6 8

主な仕様

電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	2W（電気用品安全法による）
最大外形寸法：	ダストカバーを閉じたとき： 434（幅）×122（高さ）×381（奥行き）mm（フットを含む） ダストカバーを開いたとき： 434（幅）×386（高さ）×413（奥行き）mm（フットを含む）
質量：	5.5kg
駆動方式：	ベルトドライブ
モーター：	DCサーボモーター
回転数：	33-1/3rpm、45rpm
ワウ・フラッタ：	0.10%W.R M S
S/N 比：	60dB
トーンアーム：	スタティックバランス ストレートパイプ型トーンアーム
アーム有効長：	221.5mm
オーバーハング：	19mm
カートリッジ：	MM型
出力電圧：	イコライザー OFF：2.5mV イコライザー ON：150mV
最適針圧：	2.0g (19.6mN)
交換針品番：	DSN-85
針圧可変範囲：	0 ～ 4.0g (0 ～ 39.2mN) 1目盛り 0.1g (0.98mN)
適合カートリッジ自重：	4.5 ～ 9.5g（44mN ～93mN）
ヘッドシェル質量：	10.0g (98mN)（ネジ、ナットを含む）
ヘッドシェル品番：	PCL-310SP（シルバー）/PCL-310BK（ブラック）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　社　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：03-6731-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　00D 511 4428 104